

高度専門職の確保、事務職員の高度化

● エビデンスベースの施策決定を支える体制が充実

総勢**50名**の**URA, IR**を本部・現場組織に配置

URA×IRで研究力強化



研究者

学生

教員

研究員

職員

経営ボード

経営企画オフィス

URA

IR

部局を超え、職制を超えた支援

阪大の強みや弱みを的確に分析

政策動向

資金配分動向

研究成果

研究をとりまく動向

社会課題

学内リソース

大学評価

統合データベース

学内外のデータ・情報

Open Researchを支える研究者支援体制(URA×IR)

■ 経営陣の戦略的経営判断、
施策の策定を支援

教職協働の推進

事務職員の高度化の先進的制度

■ 大学経営への参画等を担う「総合職」と専門業務を担う「専門職」へ分化させる**新キャリアパス制度**を導入

実施中の事例

MBA取得の事務職員等
が経営企画オフィスの
IR業務などに従事

共創機構では教職協働をベースに産学連携
や知財等の専門人材を育成する組織に再編
中（既に3名は共同研究専門部署に配置）